

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 17 - 1 - 9								
要綱上の事業名称	(36)地元企業経営再建指導事業								
細要素事業名	平成25年度地元企業経営再建指導事業								
全体事業費	3,000千円								
<p>【事業概要】 東日本大震災から2年以上が経過し、被災を受けた町内企業の施設整備等の復旧も徐々に進んでいる。その中で、地元企業の経営再建、新たな事業展開を目指したFS（※1）、BCP（※2）のセミナーを開催し、地元企業や新たな意欲を持つ方々を支援する。</p> <p>（※1）FS・・・フィージビリティスタディ。ビジネスプランを策定する際に、事業化が可能な、あるいは事業続行の可能性を探る調査。 （※2）BCP・・・ビジネスコンティニューティ・プラン（事業継続計画）。災害や事故などの予期せぬ出来事の発生により、限られた経営資源で最低限の事業活動を継続、ないし目標復旧時間以内に再開できるようにするために、事前に策定される行動計画である。</p> <p>【事業期間】 平成25年度～平成27年度</p> <p>【事業計画概要】 （1）経営復興セミナー 地元企業の経営再建において、新たな事業展開や復興需要後の備えも踏まえた「経営復興セミナー」を開催する。</p> <p>（2）タブレットビジネス活用セミナー タブレットの操作実習を取り入れた「タブレットビジネス活用セミナー」を開催する。</p> <p>（3）個別相談会 震災の影響により、地元企業及び創業を予定する方々の経営や技術的な悩みが多い。分野ごとの専門家を派遣し、具体的・実践的な事項に関し個別に適切な指導助言を行う個別相談会を開催する。</p> <p>【事業費】</p> <table border="1"> <tr> <td>平成25年度</td> <td>1,000千円（今回申請）</td> </tr> <tr> <td>（委託費）平成26年度</td> <td>1,000千円</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>1,000千円</td> </tr> </table> <p>【基幹事業との関連性】 事業番号と事業名 D17-1 都市再生区画整理事業</p> <p>基幹事業との関連性</p> <p>駅前地区を中心としたまちづくりと周辺における、企業の経営再建や町の活性化に向けた、新たな事業展開を推進するため、各種セミナーや相談会を実施する。</p>				平成25年度	1,000千円（今回申請）	（委託費）平成26年度	1,000千円	平成27年度	1,000千円
平成25年度	1,000千円（今回申請）								
（委託費）平成26年度	1,000千円								
平成27年度	1,000千円								

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第 3 0 及び参考様式第 3 3 の別添 3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 6 - 3									
要綱上の事業名称	(28) 防災拠点施設整備事業									
細要素事業名	大戸浜地区防災拠点施設整備事業									
全体事業費	53,000千円									
<p>【事業概要】</p> <p>当該地区は、海岸部で東日本大震災による津波により、自主防災組織の防災拠点となる公共施設が津波・地震により全壊し、地区住民は約140戸から40戸に減った。しかし、地区に残った世帯や漁業、漁業協同組合で仕事がある方、また、当該地区に防災集団移転促進事業により26戸が移転することから、これら66戸の世帯に災害発生時に地域の避難所・活動拠点となる重要な施設が必要となる。このため、町復興計画に防災施設の復旧を定めていることから、地区の防災拠点施設を整備し、安全安心なまちづくり及び平常時には防災意識の向上を図るため、この施設を防災教育や訓練の場として活用したい。このため、今次津波の浸水を受けなかった場所に防災拠点施設を建設する。</p> <p>【事業期間】 平成25年度</p> <p>【事業計画概要】 震災前施設概要 面積：木造平屋 165㎡</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">整備内容：防災拠点施設の建設（木造平屋198㎡）</p> <p style="text-align: center;">事業内容：実施設計・建築工事</p> <p>【事業費】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">平成25年度</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">調査設計委託： 8,000千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">建設工事 : 45,000千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td></td> <td style="text-align: center;">53,000千円</td> </tr> </table> <p>【基幹事業】</p> <p>事業番号と事業名 D 23 - 6 大戸浜地区防災集団移転促進事業</p> <p>基幹事業との関連性</p> <p>当該地区には、基幹事業で造成する敷地があり、災害時発生時には地域の避難所・活動拠点となる重要な施設として整備する。</p>			平成25年度	調査設計委託： 8,000千円			建設工事 : 45,000千円	合計		53,000千円
	平成25年度	調査設計委託： 8,000千円								
		建設工事 : 45,000千円								
合計		53,000千円								

※ この様式は、原則として、参考様式第 3 0 及び参考様式第 3 3 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 7 - 1										
要綱上の事業名称	(28) 防災拠点施設整備事業										
細要素事業名	富倉地区防災拠点施設整備事業										
全体事業費	67,500千円										
<p>【事業概要】</p> <p>当該地区の自主防災組織の防災拠点となる公共施設が、東日本大震災による地震及び、津波（床上50センチ程度の浸水）により大規模半壊の被害を受けた。</p> <p>当該地区は、震災により107世帯のうち7世帯が津波被害を受けたが、全て現地再建をしているほか、防災集団移転で8世帯、また、被災を受けた沿岸部等から自己再建により約20世帯移転している（する）。このため、これら約140世帯が利用するものとして今次津波の浸水を受けなかった場所に用地を取得し建設する。既存公共施設は津波により床上浸水し被害が著しく補修再利用が不可能なため解体し、新たに整備する防災拠点施設には10台程度駐車場を整備するが、地区の世帯数から見て利用できるスペースが足りないため、解体後の既存施設の跡地を駐車場として整備する。</p> <p>地域住民が各地区での再建を目指す中、当該施設は、災害発生時には地域の避難所・活動拠点となる重要な施設であり、平常時には防災意識の向上を図るため、防災教育や訓練の場として活用したい。</p> <p>【事業期間】 平成25年度</p> <p>【事業計画概要】 震災前施設概要 面積：木造平屋 110.96㎡</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>整備内容：防災拠点施設の建設（木造平屋198㎡）</p> <p>事業内容：測量等調査、用地取得、実施設計、整地工事、建築工事 駐車場整備（防塵舗装）</p> <p>【事業費】</p> <table border="1" style="width: 100%; background-color: #f0f0f0;"> <tr> <td colspan="2">平成25年度（今回申請）</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>調査設計委託 : 11,000千円</td> </tr> <tr> <td>用地取得</td> <td>用地取得 : 1,500千円（新規建築分）</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>造成・建築・駐車場工事 : 55,000千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border-top: 1px solid black; text-align: right;">67,500千円</td> </tr> </table> <p>【基幹事業】</p> <p>事業番号と事業名 D23-7 富倉地区防災集団移転促進事業</p> <p>基幹事業との関連性</p> <p>当該地区には、基幹事業で造成する敷地があり、災害時発生時には地域の避難所・活動拠点となる重要な施設として整備する。</p>		平成25年度（今回申請）		委託料	調査設計委託 : 11,000千円	用地取得	用地取得 : 1,500千円（新規建築分）	工事費	造成・建築・駐車場工事 : 55,000千円	67,500千円	
平成25年度（今回申請）											
委託料	調査設計委託 : 11,000千円										
用地取得	用地取得 : 1,500千円（新規建築分）										
工事費	造成・建築・駐車場工事 : 55,000千円										
67,500千円											

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 6 - 4																									
要綱上の事業名称	(16) 学校就学環境整備事業																									
細要素事業名	平成25年度田中大戸浜線歩道設置事業																									
全体事業費	68,000千円																									
<p>【事業概要】</p> <p>大戸浜防災集団移転団地の造成が平成25年度に完成し、被災者の住宅再建が進み生活環境の整備が必要となる。現道は通学路として指定されているが幅4mと狭く、車のすれ違いがようやく出来る程度の道路であったが、沿岸部の道路が被災したことにより、工事車両も含め現道の交通量が大幅に増え通学には非常に危険な状態が続いている。このため、防潮堤、県道相馬亘理線が完成することにより、L1津波で浸水しないと想定される現道を、当団地34戸及び高台により津波被災から難を逃れた約40戸併せて約80戸の小中学生を対象にし、町中心部にある小中学校への通学のために歩道を整備したい。</p> <p>また、基幹事業で整備するD-1-4 大戸浜富倉線が歩道のある道路として整備するが、既存集落から利用するには遠回りのうえ、起伏があり子どもたちの負担が大きいため、現在通学路に歩道を設置することが最も適当だと思われる。</p>																										
<p>【事業期間】 平成25年度～平成27年度</p>																										
<p>【事業計画概要】 L=520m、W=2.0m</p>																										
<p>【事業費】</p> <table border="1"> <tr> <td>・平成25年度</td> <td>測量調査設計</td> <td>12,000千円</td> <td>(今回提出分)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・平成26年度</td> <td>用地費</td> <td>2,000千円</td> <td>(次回申請予定)</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>34,000千円</td> <td>(次回申請予定)</td> </tr> <tr> <td>・平成27年度</td> <td>工事費</td> <td>20,000千円</td> <td>(次回申請予定)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"><hr/></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">68,000千円</td> </tr> </table>				・平成25年度	測量調査設計	12,000千円	(今回提出分)	・平成26年度	用地費	2,000千円	(次回申請予定)	工事費	34,000千円	(次回申請予定)	・平成27年度	工事費	20,000千円	(次回申請予定)			<hr/>				68,000千円	
・平成25年度	測量調査設計	12,000千円	(今回提出分)																							
・平成26年度	用地費	2,000千円	(次回申請予定)																							
	工事費	34,000千円	(次回申請予定)																							
・平成27年度	工事費	20,000千円	(次回申請予定)																							
		<hr/>																								
		68,000千円																								
<p>【基幹事業との関連性】</p> <p>事業番号と事業名 D23-6 大戸浜地区防災集団移転促進事業</p> <p>基幹事業との関連性</p> <p>基幹事業による集団移転に伴い、新たな場所での生活再建が始まることから、小中学校への通学路の整備を行い子ども達の安全、保護者の安心を図るものである。</p>																										

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第 3 0 及び参考様式第 3 3 の別添 3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 6 - 5
要綱上の事業名称	(6) 公共・公益施設整備調査事業
細要素事業名	大戸浜今泉線道路整備事業
全体事業費	6, 5 0 0 千円
<p>【事業概要】</p> <p>大戸浜防災集団移転団地の造成が平成 2 5 年度に完成し、被災者の住宅再建が進み生活環境の整備が必要となる。今次津波により、当該地区が浸水し、沿岸部から高台に避難する道は、当該道路だった。</p> <p>今回の地震・津波を想定した場合、大戸浜防集団地及び高台にある既存集落が避難道として利用するのが、基幹事業で整備しているD-1-4 大戸浜富倉線のみとなり、集中してしまう。避難道として、2 箇所以上は確保したいが、現道は幅 2 m の程と狭い未舗装道路であり、車のすれ違いも出来ない道路である。また、津波被災があった今泉と大戸浜両地区間の県道相馬互理線が高潮や災害時に通行止めになった場合、高台にあるこの道路の必要性がとても高い。避難場所である大戸浜緑地広場へと接続する道路でもあることから、今回、用地の境界調査、道路の概略設計を行う。</p> <p>【事業期間】 平成 2 5 年度</p> <p>【事業計画概要】 L = 1, 3 0 0 m、W = 4. 0 (5. 0) m</p> <p>【事業費】</p> <p>・平成 2 5 年度 測量調査設計 6, 5 0 0 千円 (今回提出分)</p> <p>【基幹事業との関連性】</p> <p>事業番号と事業名 D 2 3 - 6 大戸浜地区防災集団移転促進事業</p> <p>基幹事業との関連性</p> <p>基幹事業による集団移転団地造成に伴い、新たな場所での生活再建が始まることから、避難道及び生活の利便性の向上を図るものである。</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第 3 0 及び参考様式第 3 3 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。